

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	地理歴史	科目：	地理総合	単位数：	2	指導学年：	3
使用教科書	地理総合（実教出版）	副教材					
	新詳高等地図（帝国書院）						

年間指導目標：

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解する。地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養わせる。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、世界と日本を広く相互的な視点から俯瞰し、地球的課題に関わる基本的な知識を複数の史・資料を活用し様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味・意義・特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題把握と解決を視野に入れた構想力、考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力が身に付いている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向け課題を主体的に追究・解決しようとする態度が身に付いており、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の歴史や文化に対する愛着、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてよく自覚している。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
					1	中間考査	【第1編地図や地理情報システムでとらえる現代世界】 ・球面と底面 ・緯度と経度 ・国家の領域 ・国家間の結び付き ・モノ・人・情報のグローバル化	(知)	現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解できている。	
(思)	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、根拠を基に判断・表現できている。	○	○		○					
(態)	世界や地域の諸事象について、地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追求し、多面的・多角的に考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。				○	○				
1	期末考査	【第2編国際理解と国際協力】 第1章 生活文化の多様性と国際理解 ①地形と生活文化 ・山地・平野・海岸地形 ②気候と生活文化 ・熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯	(知)	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	○	○	○	○	12	
			(思)	世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		○		
			(態)	世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追求し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。				○		○

2 学期	中間 考 査	【第2編国際理解と国際協力】 第1章 生活文化の多様性と国際理解 ・生活を支える産業の発展 ・世界の多様な宗教 ・世界の多様な民族・言語 ・移民と多文化共生社会の形成	(知)	世界の宗教分布について、p70の地図を読み取り、特徴をまとめることができる。宗教と結び付いた社会の成立過程を理解している。世界の民族分布の特徴を、p92の地図から読み取ることができている。	○	○	○	○		16
			(思)	宗教と結び付きの深い国々の特徴についてまとめ、表などで適切に表現している。	○	○		○		
			(態)	宗教と社会生活の関連について主体的に追求し、課題の解決策を意欲的かつ主体的に考察・構想しようとしている。				○	○	
2 学期	期 末 考 査	【第2編国際理解と国際協力】 第2章 地球的課題と国際協力 ・人口問題の展開と対策 ・食料問題への取り組み ・エネルギー資源尾開発と限界 ・地球環境問題：地球温暖化 ・地球的課題の解決に向けた国際協力	(知)	人口増加による食料問題の進展を理解している。地球温暖化により引き起こされる災害や社会問題について理解している。	○	○	○	○		16
			(思)	エネルギー問題と人口増加の問題との関連性を、多面的、多角的に考察している。地球温暖化の影響について、先進国と発展途上国それぞれの立場から多面的、多角的に考察している	○	○		○		
			(態)	世界の食料問題について主体的に追求し、自分との関わりについて積極的に考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。地球温暖化の要因や影響について主体的に追求し、地球温暖化防止のために学習したことを生かそうとしている。				○	○	
3 学期	学 年 末 考 査	【第3編持続可能な地域づくりと私たち】 第1章 自然災害と防災 ・地震・津波への対策 ・火山災害と対策 ・風水害への対策 ・雪害・高温と対策	(知)	日本で発生する自然災害について、日本の自然環境の特徴と関連付けて理解している。地震や台風などの発生について、p176～177の地図を読み取り理解している。	○	○	○	○		22
			(思)	日本の自然環境の特徴と、世界と比較して考察し、適切に表現している。必要な対策について協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。	○	○		○		
			(態)	災害を引き起こす自然環境の特徴について、主体的に追求しようとしている。				○	○	
合計									78	